

1 新時代への扉をひらく

- (1) 人、物、情報の大交流新時代
～「北東アジアゲートウェイ構想」
- (2) 高付加価値で打って出る産業
- (3) いきいきと働ける就業環境
- (4) 食のみやこ鳥取県
- (5) ようこそ、ようこそ鳥取県
- (6) 海外との交流

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)環日本海圏航路就航奨励事業	57,600	0	57,600			57,600 <繰入金>		

トータルコスト 60,086 千円（前年度 0 千円）

従事する職員数 正職員：0.3 人

主な業務内容 補助金支出先団体等との調整、補助金支出・確定等

事業内容の説明 ※地域活性化・生活対策臨時基金充当

1 事業の概要

環日本海圏貨客船航路就航にあたり、日本側への大きな経済効果（年間100億円超）が見込めることから、安定的かつ継続的な運航に資するため、就航初動時期における運航経費の一部を助成する。

【基本理念】

○環日本海貨客船航路は、我が国にとって、国際経済のパラダイムシフト（米国を中心とする既成の慣行・枠組みからの転換）に合致し、国内的にも地域間経済格差の是正に向けた時代の節目に繋がる偉大なる第一歩。

○この航路は本県提唱の「北東アジアゲートウェイ構想」の核を担うものであり、推計年間100億円超の経済効果をもたらす地域経済活性化の大いなる起爆剤。

【スキーム】

地元からの要請等も踏まえ、環日本海圏航路を実現するため、航路開設初期の経費を助成する民間団体を支援する。

（平成20年8月 中海市長会から要望
平成21年2月 境港市、環日本海経済活動促進協議会から要望）

- ・事業主体は「環日本海経済活動促進協議会」（事務局：境港貿易振興会）
- ・境港－東海間の運航経費の1/10を助成
- ・1往復あたり1,000千円を上限
- ・就航回数に基づき助成
- ・期間は初動3年間
- ・助成総額を県と地元自治体が60対40で負担

2 事業の内容

補助金名	環日本海圏航路就航奨励補助金		
補助金額	57,600千円	$\text{<全体事業費>1,000千円(上限) / 往復} \times 96 \text{往復 (週2回運航)} = 96,000 \text{千円}$ うち鳥取県 60/100 (負担割合) = 57,600千円 うち地元自治体 40/100 (負担割合) = 38,400千円	
補助先	環日本海経済活動促進協議会		

<参考>経済波及効果の試算

環日本海貨客船航路の年間経済波及効果の試算（平年度化後（3年目）の数字、単位：億円）						
直接効果				間接効果 （生産誘 発効果）	輸送 費節 減効 果	合計
物流機能	生産機能	旅行消費	計			
荷役、陸送、通関入港経費、海上運賃等	貿易、船用品等	訪日外国人旅客消費等				
9	45	9	63	42	1	106

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
(新)環日本海 圏航路貨物利 用促進事業	8,125	0	8,125				8,125	
トータルコスト	14,753 千円（前年度 0 千円）							
従事する職員数	正職員：0.8 人							
主な業務内容	懇談会開催自治体・経済団体等との連絡調整、港湾管理者等との連絡調整							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 環日本海圏航路の安定運航を図るため、安定的な貨物の確保が最重要課題であり、西日本を対象とした国内企業への営業活動（ポートセールス）を行う。</p> <p>2 事業内容 (1) 環日本海圏航路利用促進懇談会の開催（6,445千円） ○開催予定地 広島市（広島・山口）、岡山市（岡山・四国）、大阪市（近畿圏） 福岡（九州） ○開催回数 各地域1回 ○参加対象 各民間企業（メーカー、商社、物流企業等） ○規 模 各会場 100名程度 ○内 容 ・航路の概要説明 ・講演会 ・懇談会（ミニ商談等）</p> <p>(2) 境港視察ツアーの開催（1,680千円） ○開催場所 境港（貨客船・コンテナ船寄港バース、旅客ターミナル） ○開催回数 年3回 ○参加対象 県外各企業、経済団体など （例：関西経済連合会、中国経済連合会など） ○規 模 1回あたり30名程度 ○内 容 ・航路の概要説明と船内紹介 ・港湾視察 ・懇談会（ミニ商談等）</p>								
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">西日本一円から貨物を集荷するイメージ</div>  </div>								

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																																																																														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																																																															
(新)境港輸出入拠点化支援事業	52,000	0	52,000				52,000																																																																															
トータルコスト	54,486千円（前年度 0千円）																																																																																					
従事する職員数	正職員：0.3人																																																																																					
主な業務内容	事業公募、補助金手続、事業進捗管理等																																																																																					
事業内容の説明																																																																																						
<p>1 事業の概要 環日本海航路を活用して新たなビジネスに取り組む事業者等に対するビジネスサポートや輸出入拠点化支援を行い、新規輸出入貨物の確保・拡大を図る。</p> <p>〔背景〕 ○海外との取引ノウハウが少ない境港周辺地域では、専門知識を有する企業との連携により、海外展開ビジネスサポートが不可欠。 ○環日本海航路を利用する貨物を確保するためには、生鮮物輸送商材などを受入れるための氷温庫設置などの輸送体制整備が必要。</p>																																																																																						
<p>2 事業内容</p> <p>(1) 境港対岸ビジネス創出支援補助金（5,000千円）</p> <table border="1"> <tr> <td>助成対象</td> <td colspan="8">環日本海経済活動促進協議会</td> </tr> <tr> <td>助成事業</td> <td colspan="8">会員企業の新たな海外取引先の開拓、ビジネスサポート等を目的に専門知識や人脈を有する企業とコンサルタント契約等を結ぶ経費</td> </tr> <tr> <td>助成経費</td> <td colspan="8">委託経費、旅費等</td> </tr> <tr> <td>助成範囲</td> <td colspan="8">経費の9/10</td> </tr> <tr> <td>助成上限</td> <td colspan="8">5,000千円/件</td> </tr> <tr> <td>助成期間</td> <td colspan="8">当面3年間（H21～H23年度）</td> </tr> </table> <p>(2) 境港輸出入拠点化支援補助金（46,000千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ソフト事業</th> <th>ハード事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成対象</td> <td>鳥取県内に拠点を有する企業、団体等</td> <td>鳥取県内に拠点を有する企業、団体等</td> </tr> <tr> <td>助成事業</td> <td>境港の輸出入拠点化に資するハード整備を前提とした実施可能調査、実験的な取組にかかる経費の一部</td> <td>境港の輸出入拠点化に資するハード整備のうち、設置効果が個別の企業に留まることなく、幅広い活用が期待できるもの。</td> </tr> <tr> <td>助成経費</td> <td>土地建物等の使用料、管理運営経費、調査費等</td> <td>設備導入経費、会場整備費等</td> </tr> <tr> <td>助成範囲</td> <td>経費の2/3</td> <td>経費の2/3</td> </tr> <tr> <td>助成上限</td> <td>2,000千円/件</td> <td>20,000千円/件</td> </tr> <tr> <td>助成期間</td> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>想定件数</td> <td>3件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事務費（1,000千円）</p>									助成対象	環日本海経済活動促進協議会								助成事業	会員企業の新たな海外取引先の開拓、ビジネスサポート等を目的に専門知識や人脈を有する企業とコンサルタント契約等を結ぶ経費								助成経費	委託経費、旅費等								助成範囲	経費の9/10								助成上限	5,000千円/件								助成期間	当面3年間（H21～H23年度）									ソフト事業	ハード事業	助成対象	鳥取県内に拠点を有する企業、団体等	鳥取県内に拠点を有する企業、団体等	助成事業	境港の輸出入拠点化に資するハード整備を前提とした実施可能調査、実験的な取組にかかる経費の一部	境港の輸出入拠点化に資するハード整備のうち、設置効果が個別の企業に留まることなく、幅広い活用が期待できるもの。	助成経費	土地建物等の使用料、管理運営経費、調査費等	設備導入経費、会場整備費等	助成範囲	経費の2/3	経費の2/3	助成上限	2,000千円/件	20,000千円/件	助成期間	平成21年度	平成21年度	想定件数	3件	2件
助成対象	環日本海経済活動促進協議会																																																																																					
助成事業	会員企業の新たな海外取引先の開拓、ビジネスサポート等を目的に専門知識や人脈を有する企業とコンサルタント契約等を結ぶ経費																																																																																					
助成経費	委託経費、旅費等																																																																																					
助成範囲	経費の9/10																																																																																					
助成上限	5,000千円/件																																																																																					
助成期間	当面3年間（H21～H23年度）																																																																																					
	ソフト事業	ハード事業																																																																																				
助成対象	鳥取県内に拠点を有する企業、団体等	鳥取県内に拠点を有する企業、団体等																																																																																				
助成事業	境港の輸出入拠点化に資するハード整備を前提とした実施可能調査、実験的な取組にかかる経費の一部	境港の輸出入拠点化に資するハード整備のうち、設置効果が個別の企業に留まることなく、幅広い活用が期待できるもの。																																																																																				
助成経費	土地建物等の使用料、管理運営経費、調査費等	設備導入経費、会場整備費等																																																																																				
助成範囲	経費の2/3	経費の2/3																																																																																				
助成上限	2,000千円/件	20,000千円/件																																																																																				
助成期間	平成21年度	平成21年度																																																																																				
想定件数	3件	2件																																																																																				

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ロシア新規商材開拓事業	8,625	0	8,625				8,625	
トータルコスト	12,768千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.5人							
主な業務内容	事業実施計画策定及び関係者との調整、実施							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要 航路を利用した商材として期待が高まる生鮮物等を中心に、ロシアでの市場拡大に向けた取組を民間組織と連携して実施し、具体的取引成立に結び付け、県産品の販路拡大を図る。</p> <p>【背景】 ○新規定期貨客船航路の安定運航に向け、境港で荷役を行う貨物を早期に確保する必要。 ○新規航路の優位性である「短いリードタイム」と「定時運航」を活かした生鮮物輸送への期待は高い。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 鳥取県物産展の開催（2,470千円） ○時期：9月上旬 ○場所：ウラジオストク市内スーパー等 ○内容：県内企業から輸出希望商材を広く募集し、現地での物産展を開催する。 ロシア市場の反応を把握するとともに、商談機会の設置により具体的取引に繋げる。併せて新規航路や観光を含む本県の情報発信も実施。</p> <p>(2) 県産食材を利用した現地での料理教室開催（2,520千円） ○時期：9月中旬 ○場所：ウラジオストク市内大学、レストラン等 ○内容：ウラジオストク総領事公邸料理人及び県内料理人等を講師に、現地調理士、一般市民等を対象として、県産品を活用した日本料理教室を開催。</p> <p>(3) ロシア人日本料理人等の訪日研修受入（1,835千円） ○時期：10月下旬 ○場所：鳥取県内旅館、ホテル等 ○内容：ロシア側から受入要請のあった日本料理調理師等の訪日研修（調理技術習得）受入を行い、ロシアにおける日本食文化の定着と日本料理調理師の人材育成並びに県産品の販路拡大を図る。 ○人数：約20名</p> <p>(4) ロシア新規商材開拓助成（1,800千円） ○内容：試行的なロシアへの輸出、販売等への取り組み、品目毎の国家認証制度取得や貿易手続きのマニュアル化など、貿易ノウハウの蓄積を図る経費の一部を助成。 ○助成先：環日本海経済活動促進協議会 ○補助率：2/3</p>								

平成 21 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7218）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)2010年上海万博 大阪出展と連携した 鳥取県観光PR事業	5,000	0	5,000				5,000	
トータルコスト	5,829千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	出展実行委員会との調整業務、負担金支払事務 等							

事業内容の説明

1 事業の概要

関西府県との連携事業として、2010年上海万博の大阪出展スペース内において、他の関西府県と並んで本県の自然、文化、歴史など観光の魅力を紹介し、外国からの観光誘客の推進を図る。

2 平成21年度事業費

上海万博大阪出展実行委員会負担金 5,000千円

○紹介展示内容（想定例）

- ・山陰海岸世界ジオパークネットワーク加盟への取組み
- ・三徳山三佛寺、温泉地、漫画、特産品 など

《2010年上海万博の概要》

- 1 テーマ Better City, Better Life
- 2 会期 平成22年5月1日から10月31日まで（184日間）
- 3 場所 中華人民共和国 上海市（都心部）
- 4 会場面積 328ha（観覧エリア）
- 5 参加者 228カ国・国際機関
- 6 入場見込 7,000万人
- 7 出展に係る全体経費見込み（概算）

内 訳	金 額	備 考
大阪府・大阪市	200,000千円	
企業等	155,000千円	
関西圏各自治体	45,000千円	5,000千円×9府県
合 計	400,000千円	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光政策課（内線：7221）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 国際観光を考える プロジェクト推進 事業	16,292	0	16,292				16,292	
トータルコスト	22,920千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.8人 非常勤職員：1.0							
主な業務内容	アクションプログラム策定に係る連絡調整・会議開催等の事務、補助金交付事務、契約事務 等							

事業内容の説明

1 事業の概要

来るべき大交流時代に向けて、北東アジアのゲートウェイを目指す鳥取県の国際観光のあるべき姿について有識者や民間関係者と議論を重ね、具体的な目標や達成手段などを盛り込んだ「鳥取県国際観光アクションプログラム」を策定する。

併せて、民間事業者自らが考え取り組む外国人観光客の誘致・受入の活動を積極的に支援し、民間主体によるインバウンド活動の底上げを図る。

2 平成21年度事業費（非常勤人件費除く）

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
国際観光アクションプログラムの策定	2,926	○国際観光の現状把握及び分析 ○先進地視察の実施 ○アクションプログラムの素案作成 ○有識者による提言 ○県内業界等の意見聴取、意見交換会開催
民間活動支援		
研修会の開催等	870	○インバウンド研修会開催 ○インバウンド出前説明会開催 ○インバウンド相談窓口の設置
インバウンド活動支援補助金	5,000	
交付先 (事業主体)	民間事業者によるグループ、団体等	
対象経費	○インバウンド活動検討会・研修会等会議開催経費 ○海外プロモーション経費 ○外国語ホームページ新設費 ○外国語版パンフレット等作成費 ○施設整備費（外国語表示、海外テレビ放送受信整備等） など外国人客誘致・受入に関する取り組みに要する経費	
補助率	2/3（上限額：50万円）	
その他	インバウンド活動に積極的な個別企業も対象とする。（補助率：1/2）	
小 計	5,870	
外国人向け観光パンフレット作成	5,078	英語、韓国、中国、台湾等
計	13,874	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7221）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客誘致対策事業	50,120	52,128	△ 2,008				50,120	
トータルコスト	84,917千円（前年度 86,382千円）							
従事する職員数	正職員：4.2人							
主な業務内容	旅行会社等の受入れ、広報宣伝、各種支援制度等に係る連絡調整、契約事務等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>国内観光客が伸び悩んでいる中で、訪日客の多い韓国、台湾を主なターゲットとして、本県の知名度向上とともに外国人観光客誘致を推進する。</p> <p>特に、韓国からの誘客については、米子ーソウル国際定期便に加え、平成21年春の本格就航が計画されている境港～東海間の定期航路を積極的に活用するとともに、島根県をはじめ山陽・関西圏域等との連携を強化し一層の充実を図る。</p> <p>また、境港～東海航路により結ばれるロシアをはじめ、中国（上海、香港）、タイ、シンガポールなどの新規ターゲットの開拓にも積極的に取り組み、世界に開かれた「観光立県」を推進する。</p>								
2 平成21年度事業費 （単位：千円）								
区分		予算額	内容					
県単独	広報宣伝	11,000	テレビ、新聞、雑誌等への県の観光情報の広告掲載料等					
	旅行会社の招請・マスコミ取材受入れ	4,621	○旅行会社の招請による旅行商品造成（新規マーケットを含む） ○マスコミ取材の受入による宣伝PR					
	ホームページによる情報発信	200	鳥取県観光ホームページ（韓国語版）の管理委託料					
	韓国人観光客誘致対策事業費補助金	18,000	旅行会社への旅行商品造成等支援（交通費支援、企業インセンティブ・教育旅行支援）					
	小計	33,821						
山陰国際観光協議会負担金（鳥取県・島根県共同事業）		4,000	事業費：24,450千円 財源内訳：鳥取県・島根県各4,000千円、国等16,450千円 事業内容：観光説明会・商談会の開催、旅行会社招請、広報宣伝等					
広域連携事業	台湾チャーター便観光客誘致	2,451	香川県等と連携し台湾からのチャーター便を誘致					
	中国地方国際観光ビジネスフォーラムへの参加	1,000	中国、韓国、台湾等からの観光客誘致のため、中国五県と国が連携して商談会・旅行会社等視察ツアーを実施（H21年度：島根県開催）					
	小計	3,451						
事務費		8,848	○職員旅費 ○取材等受入経費（宿泊料、車両借上等）					
計		50,120						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																					
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源																						
境港利用促進事業	(18,540) 16,540	(10,913) 10,913	(7,627) 5,627			(2,000)	(16,540) 16,540																						
トータルコスト	23,168千円（前年度20,885千円）																												
従事する職員数	正職員：0.8人																												
主な業務内容	新規利用企業助成、小口混載貨物利用助成、境港利用拡大助成、企業訪問、補助金の支出・確定及び連絡調整																												
<p>※上段（ ）内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額 事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要 既存航路の充実と新規航路の開設に向けて、荷主・船社等に対する境港利用の働きかけ等を行うことに加え、境港の新規利用の促進、小口貨物利用者及び境港利用の拡大のため誘導策を拡充・創設。</p> <p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">区 分</th> <th style="width:15%;">予算額</th> <th style="width:70%;">事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>境港利用拡大助成 【新規】</td> <td style="text-align:right;">5,000</td> <td>境港利用を既に利用している企業及び輸出入者が前年2割以上または50TEU(※)以上貨物が増えた場合、増加分に対して1コンテナにつき10千円を助成し、貨物の安定化を図る。 (@10千円×50TEU=500千円)×10企業 【1企業500千円を上限】 (※)1TEU→20フィートコンテナ(長さ6メートル) 1本分に換算した貨物量</td> </tr> <tr> <td>新規利用企業助成 【拡充】</td> <td style="text-align:right;">3,000</td> <td>境港を利用したことの無い企業及び輸出入者が試行的に利用する場合、1企業につき、1TEUあたり20千円を助成し、新規利用のきっかけづくりを図る。 (@20千円×15TEU=300千円)×10企業 又は (@5千円×中古車・重機等60台=300千円) ×10企業 【1企業300千円を上限】</td> </tr> <tr> <td>小口混載貨物利用助成</td> <td style="text-align:right;">1,000</td> <td>1つのコンテナ単位に満たない小口貨物として利用する場合、貨物1トンあたり1,000円の助成を行い、小口貨物の利用促進を図る。 @1,000円/貨物1トン【1企業100千円を上限】</td> </tr> <tr> <td>境港貿易振興会への補助金</td> <td style="text-align:right;">4,765</td> <td>貿易振興会の活動に対して助成 鳥取県と境港市の補助金額は、所要経費合計額から会費収入及び島根県補助金額を控除、残額を折半。 〔11,977(総経費)－1,710(会費収入)－738(島根県)〕÷2 = 4,765千円 ※貿易振興会の事業内容 ・国内企業ポートセールス [898千円] ・海外企業ポートセールス [1,657千円] ・利用促進懇談会開催事業 [1,481千円] ・環日本海定期航路物流促進事業 [1,585千円] ・その他 [6,356千円]</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align:right;">2,775</td> <td>既存航路の充実と新規航路の開設に向けて、荷主・船社等に対して、境港のPR・提案等のトップセールスを行う。</td> </tr> <tr> <td>企業訪問調査の委託</td> <td style="text-align:right;">(2,000)</td> <td>企業の海外展開状況を訪問調査するための調査補助員を雇用し、資料等の作成業務を委託する。 (ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用：商工労働部一括予算計上) 雇用創出人数 1人</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事 業 内 容	境港利用拡大助成 【新規】	5,000	境港利用を既に利用している企業及び輸出入者が前年2割以上または50TEU(※)以上貨物が増えた場合、増加分に対して1コンテナにつき10千円を助成し、貨物の安定化を図る。 (@10千円×50TEU=500千円)×10企業 【1企業500千円を上限】 (※)1TEU→20フィートコンテナ(長さ6メートル) 1本分に換算した貨物量	新規利用企業助成 【拡充】	3,000	境港を利用したことの無い企業及び輸出入者が試行的に利用する場合、1企業につき、1TEUあたり20千円を助成し、新規利用のきっかけづくりを図る。 (@20千円×15TEU=300千円)×10企業 又は (@5千円×中古車・重機等60台=300千円) ×10企業 【1企業300千円を上限】	小口混載貨物利用助成	1,000	1つのコンテナ単位に満たない小口貨物として利用する場合、貨物1トンあたり1,000円の助成を行い、小口貨物の利用促進を図る。 @1,000円/貨物1トン【1企業100千円を上限】	境港貿易振興会への補助金	4,765	貿易振興会の活動に対して助成 鳥取県と境港市の補助金額は、所要経費合計額から会費収入及び島根県補助金額を控除、残額を折半。 〔11,977(総経費)－1,710(会費収入)－738(島根県)〕÷2 = 4,765千円 ※貿易振興会の事業内容 ・国内企業ポートセールス [898千円] ・海外企業ポートセールス [1,657千円] ・利用促進懇談会開催事業 [1,481千円] ・環日本海定期航路物流促進事業 [1,585千円] ・その他 [6,356千円]	事務費	2,775	既存航路の充実と新規航路の開設に向けて、荷主・船社等に対して、境港のPR・提案等のトップセールスを行う。	企業訪問調査の委託	(2,000)	企業の海外展開状況を訪問調査するための調査補助員を雇用し、資料等の作成業務を委託する。 (ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用：商工労働部一括予算計上) 雇用創出人数 1人
区 分	予算額	事 業 内 容																											
境港利用拡大助成 【新規】	5,000	境港利用を既に利用している企業及び輸出入者が前年2割以上または50TEU(※)以上貨物が増えた場合、増加分に対して1コンテナにつき10千円を助成し、貨物の安定化を図る。 (@10千円×50TEU=500千円)×10企業 【1企業500千円を上限】 (※)1TEU→20フィートコンテナ(長さ6メートル) 1本分に換算した貨物量																											
新規利用企業助成 【拡充】	3,000	境港を利用したことの無い企業及び輸出入者が試行的に利用する場合、1企業につき、1TEUあたり20千円を助成し、新規利用のきっかけづくりを図る。 (@20千円×15TEU=300千円)×10企業 又は (@5千円×中古車・重機等60台=300千円) ×10企業 【1企業300千円を上限】																											
小口混載貨物利用助成	1,000	1つのコンテナ単位に満たない小口貨物として利用する場合、貨物1トンあたり1,000円の助成を行い、小口貨物の利用促進を図る。 @1,000円/貨物1トン【1企業100千円を上限】																											
境港貿易振興会への補助金	4,765	貿易振興会の活動に対して助成 鳥取県と境港市の補助金額は、所要経費合計額から会費収入及び島根県補助金額を控除、残額を折半。 〔11,977(総経費)－1,710(会費収入)－738(島根県)〕÷2 = 4,765千円 ※貿易振興会の事業内容 ・国内企業ポートセールス [898千円] ・海外企業ポートセールス [1,657千円] ・利用促進懇談会開催事業 [1,481千円] ・環日本海定期航路物流促進事業 [1,585千円] ・その他 [6,356千円]																											
事務費	2,775	既存航路の充実と新規航路の開設に向けて、荷主・船社等に対して、境港のPR・提案等のトップセールスを行う。																											
企業訪問調査の委託	(2,000)	企業の海外展開状況を訪問調査するための調査補助員を雇用し、資料等の作成業務を委託する。 (ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用：商工労働部一括予算計上) 雇用創出人数 1人																											

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																																								
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源																																									
物流効率化推進事業	8,485	1,019	7,466				8,485																																									
トータルコスト	21,741千円（前年度 16,624千円）																																															
従事する職員数	正職員：1.6人																																															
主な業務内容	補助金事務、物流効率化促進委員会立ち上げ、補助実施企業との連絡調整等																																															
事業内容の説明																																																
<p>1 事業の概要 北東アジアのゲートウェイを目指すために不可欠な物流産業の強化・拡大を図るため、企業が行う物流の効率化や新規販路開拓に係る取組みに対して支援を行う。</p>																																																
<p>2 事業内容</p> <p>(1) 物流効率化事業（4,085千円）【拡充】</p> <p>①物流効率化促進委員会（仮称）の設置 585千円 下記事業に係る内容審査を行うための委員会を設置（委員3名、年4回）</p> <p>②物流効率化補助金 3,500千円</p> <p>○物流効率化推進事業 3,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>物流の効率化に繋がる事業に対しその一部を助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>荷主又は物流企業、事業協同組合等</td> </tr> <tr> <td>補助金の対象</td> <td>実証実験をするための事業</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/3（上限1,000千円）</td> </tr> </table> <p>○物流効率化セミナー開催事業 500千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>同業者間の物流効率化セミナーの開催経費の一部助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>事業協同組合、任意団体（グループ）</td> </tr> <tr> <td>補助金の対象</td> <td>セミナー開催に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/3（上限1,000千円）</td> </tr> </table> <p>(2) 国内物流活性化促進補助金（4,400千円）【新規】 モーダルシフト転換や境港航路の利用のほか、物流コストを低減させたビジネスマッチングを促進し、国内物流の活性化を図る。</p> <p>①モーダルシフト転換促進事業 1,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>境港を利用して輸出入する際、列車を利用した輸送を新たに導入した場合の経費を一部助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>荷主又は物流企業</td> </tr> <tr> <td>助成額等</td> <td>10,000円/回（上限 1社100千円）</td> </tr> </table> <p>②新規貨客船航路利用促進事業 1,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>新規貨客船航路を利用する際の国内輸送料金を一部助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>荷主又は物流企業</td> </tr> <tr> <td>助成額等</td> <td>10,000円/回（上限 1社100千円）</td> </tr> </table> <p>③首都圏・中京圏物流コスト低減事業 1,600千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>首都圏・中京圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>県内に店舗のある荷主等</td> </tr> <tr> <td>助成額等</td> <td>8,000円/回（上限 1社80千円）</td> </tr> </table> <p>④近畿圏物流コスト低減事業 800千円</p> <table border="1"> <tr> <td>事業内容</td> <td>近畿圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>県内に店舗のある荷主等</td> </tr> <tr> <td>助成額等</td> <td>4,000円/回（上限 1社40千円）</td> </tr> </table>									事業内容	物流の効率化に繋がる事業に対しその一部を助成	事業主体	荷主又は物流企業、事業協同組合等	補助金の対象	実証実験をするための事業	補助率等	1/3（上限1,000千円）	事業内容	同業者間の物流効率化セミナーの開催経費の一部助成	事業主体	事業協同組合、任意団体（グループ）	補助金の対象	セミナー開催に要する経費	補助率等	1/3（上限1,000千円）	事業内容	境港を利用して輸出入する際、列車を利用した輸送を新たに導入した場合の経費を一部助成	事業主体	荷主又は物流企業	助成額等	10,000円/回（上限 1社100千円）	事業内容	新規貨客船航路を利用する際の国内輸送料金を一部助成	事業主体	荷主又は物流企業	助成額等	10,000円/回（上限 1社100千円）	事業内容	首都圏・中京圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成	事業主体	県内に店舗のある荷主等	助成額等	8,000円/回（上限 1社80千円）	事業内容	近畿圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成	事業主体	県内に店舗のある荷主等	助成額等	4,000円/回（上限 1社40千円）
事業内容	物流の効率化に繋がる事業に対しその一部を助成																																															
事業主体	荷主又は物流企業、事業協同組合等																																															
補助金の対象	実証実験をするための事業																																															
補助率等	1/3（上限1,000千円）																																															
事業内容	同業者間の物流効率化セミナーの開催経費の一部助成																																															
事業主体	事業協同組合、任意団体（グループ）																																															
補助金の対象	セミナー開催に要する経費																																															
補助率等	1/3（上限1,000千円）																																															
事業内容	境港を利用して輸出入する際、列車を利用した輸送を新たに導入した場合の経費を一部助成																																															
事業主体	荷主又は物流企業																																															
助成額等	10,000円/回（上限 1社100千円）																																															
事業内容	新規貨客船航路を利用する際の国内輸送料金を一部助成																																															
事業主体	荷主又は物流企業																																															
助成額等	10,000円/回（上限 1社100千円）																																															
事業内容	首都圏・中京圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成																																															
事業主体	県内に店舗のある荷主等																																															
助成額等	8,000円/回（上限 1社80千円）																																															
事業内容	近畿圏企業との新たなビジネスマッチングに要する輸送料金の一部を助成																																															
事業主体	県内に店舗のある荷主等																																															
助成額等	4,000円/回（上限 1社40千円）																																															

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海圏航路促進事業	9,988	13,796	△3,808				9,988	
トータルコスト	22,416千円（前年度 33,587千円）							
従事する職員数	正職員：1.5人							
主な業務内容	関係機関との連絡調整・交渉、韓国での販路開拓事業の実施 航路の周知・企業訪問など、北東アジア地域に関する情報収集							

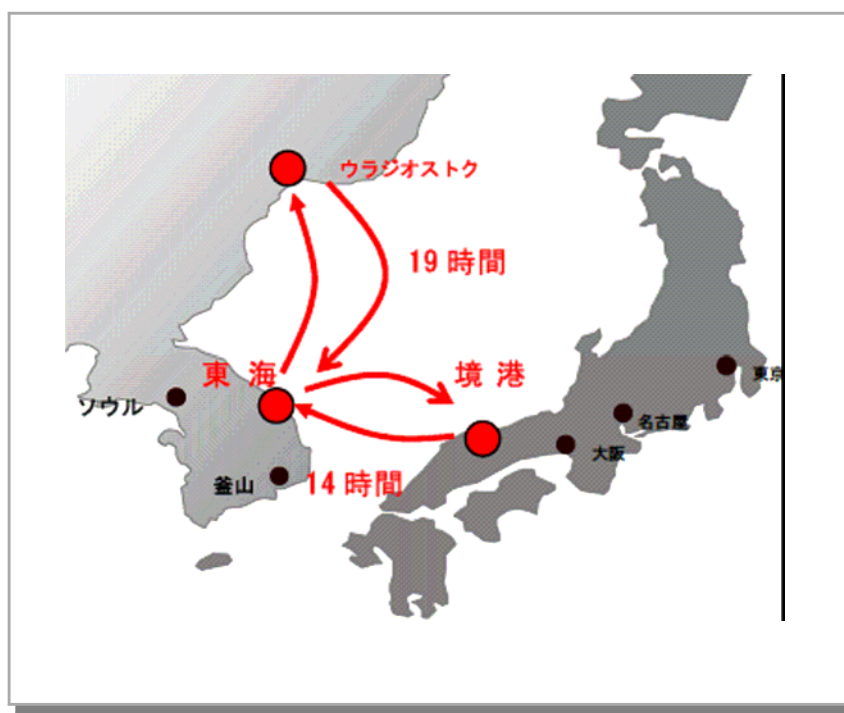
事業内容の説明

1 事業の概要

経済発展の著しい環日本海地域との人・モノの交流拡大を図るため、関係機関と連携しながら、境港への航路開設・安定運航に向けた情報収集やPR活動などを継続する。

2 事業内容

- (1) 環日本海圏航路推進のための交渉、情報交換 3,278千円
・訪問団受入れなど
- (2) 海外（韓国）での販路開拓（商談会の開催） 1,860千円
・実施回数 2回
・開催場所 ソウル市内及び江原道東海市内ホテル各1回
・対象分野 食品、水産関係など
・実施内容 韓国との取引（輸出）を希望する鳥取県内企業と、韓国商社などとのビジネスマッチングの機会を設ける。
- (3) 環日本海圏航路開設に向けた認知度向上 4,800千円
経済関係の全国紙に全面広告を掲載し、県外企業へ幅広く周知を行う。
- (4) 日本国内における情報収集・企業訪問 50千円
(財)環日本海経済研究所の会員となり、北東アジア諸国に関する情報収集を行う。



平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

4目 貿易振興費

経済・雇用政策総室（内線：7659）→事業実施：経済通商総室

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源													
県内企業海外チャレンジ支援事業	14,774	14,774	0				14,774													
トータルコスト	20,574千円（前年度20,102千円）																			
従事する職員数	正職員：0.7人																			
主な業務内容	補助金支出・確定、補助金支出先団体との連絡調整																			
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の概要 県内企業の海外展開を支援し、産業の活性化を図るため、(財)鳥取県産業振興機構が実施する海外市場情報の提供、マッチングの場の提供等に要する経費を助成する。 (事業実施主体：(財)鳥取県産業振興機構、補助率：10/10)</p> <p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外市場調査事業</td> <td>2,774</td> <td>(1) 海外コーディネーターの配置 台湾、上海に海外コーディネーターを配置し、現地市場情報の発信、企業等からの簡易な問合せに対応する。 (2) 企業の海外市場調査への同行 県内企業が現地で市場調査等を行う場合、依頼により同行、調査業務のサポートを行う。 ※同行者の日当、旅費の1/2を支援(2回の同行まで)</td> </tr> <tr> <td>商談会開催事業</td> <td>5,000</td> <td>商談会、展示会等への出展を産業振興機構が企画し、関連企業がまとめて出展することで、効果の高いPR、効率的な商談を実施する。</td> </tr> <tr> <td>県内企業海外チャレンジ支援事業補助金</td> <td>7,000</td> <td>企業独自で海外見本市に参加するなど、販路開拓等に取り組む場合に要する経費の一部を助成する。 また新たに、輸出にかかる各種認証手続の取得に要する経費についても補助対象とする。 ※補助率1/2、補助限度額1,000千円(1社あたり)</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事業内容	海外市場調査事業	2,774	(1) 海外コーディネーターの配置 台湾、上海に海外コーディネーターを配置し、現地市場情報の発信、企業等からの簡易な問合せに対応する。 (2) 企業の海外市場調査への同行 県内企業が現地で市場調査等を行う場合、依頼により同行、調査業務のサポートを行う。 ※同行者の日当、旅費の1/2を支援(2回の同行まで)	商談会開催事業	5,000	商談会、展示会等への出展を産業振興機構が企画し、関連企業がまとめて出展することで、効果の高いPR、効率的な商談を実施する。	県内企業海外チャレンジ支援事業補助金	7,000	企業独自で海外見本市に参加するなど、販路開拓等に取り組む場合に要する経費の一部を助成する。 また新たに、輸出にかかる各種認証手続の取得に要する経費についても補助対象とする。 ※補助率1/2、補助限度額1,000千円(1社あたり)
区 分	予算額	事業内容																		
海外市場調査事業	2,774	(1) 海外コーディネーターの配置 台湾、上海に海外コーディネーターを配置し、現地市場情報の発信、企業等からの簡易な問合せに対応する。 (2) 企業の海外市場調査への同行 県内企業が現地で市場調査等を行う場合、依頼により同行、調査業務のサポートを行う。 ※同行者の日当、旅費の1/2を支援(2回の同行まで)																		
商談会開催事業	5,000	商談会、展示会等への出展を産業振興機構が企画し、関連企業がまとめて出展することで、効果の高いPR、効率的な商談を実施する。																		
県内企業海外チャレンジ支援事業補助金	7,000	企業独自で海外見本市に参加するなど、販路開拓等に取り組む場合に要する経費の一部を助成する。 また新たに、輸出にかかる各種認証手続の取得に要する経費についても補助対象とする。 ※補助率1/2、補助限度額1,000千円(1社あたり)																		

平成21年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光政策課（内線：7221）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海圏貨客船 誘客対策事業	5,000	5,000	0				5,000	

トータルコスト 13,285千円（前年度 8,806千円）

従事する職員数 正職員：1.0人

主な業務内容 観光説明会、旅行会社等の受入れ、広報宣伝等に係る連絡調整、契約事務等

事業内容の説明

1 事業の概要

韓国のDBSクルーズフェリー株式会社による境港と韓国（江原道東海市）、ロシア（ウラジオストク）を結ぶ国際定期貨客船を活用した外国人観光客誘致を図るとともに、DBS社及び旅行会社等と連携して同貨客船の旅客利用の拡大を図る。

2 平成21年度事業費

（単位：千円）

区分	予算額	内容
クルーズ旅行商品造成支援	1,000	○観光説明会の開催 （モデルコースの提案、観光PR） ○旅行会社招請、商談会の実施
広報宣伝	4,000	○マスコミ招請（記事掲載による観光PR） ○広告掲載（観光PR、旅行商品の紹介）
計	5,000	

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

観光政策課（内線：7221）

3 目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費（定期便）	87,733	91,733	△4,000				87,733	
トータルコスト	102,646千円（前年度102,238千円）							
従事する職員数	正職員：1.8人							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社との連絡・調整、補助金交付、負担金支払事務 米子ーソウル国際定期便利用促進実行委員会事務局業務（各種申請処理、幹事会等開催、利用促進プロモーション、PR事業・協定事業実施）							

事業内容の説明

1 事業の概要

世界的な経済危機や円高などの厳しい環境の中で、山陰唯一の国際定期航空路線である米子ーソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して着陸料、施設使用料等の経費を支援を行う。

また、同便の官民一体となった利用促進を図るため、山陰両県の官民64団体で組織する「米子ーソウル国際定期便利用促進実行委員会」の一員として積極的に利用促進事業を推進する。

2 平成 2 1 年度事業費

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
アジアナ航空に対する着陸料、施設使用料等の支援	76,793	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料（3/4） ・空港ビル施設使用料（10/10） ・ハイジャック検査業務（10/10） ※（ ）内は補助率
米子ーソウル国際定期便利用促進実行委員会負担金	10,000	○事業費 30,000（内訳：県10,000、市町村・民間20,000、計30,000） ○事業内容 ・主にアウトバウンドの利用促進 ・商品造成支援 ・空港アクセス対策 ・情報発信 ・団体旅行支援 ・韓国観光公社等との連携事業 など
事務費	940	
合 計	87,733	

3 債務負担行為 153,586千円（平成 2 1 年度～2 3 年度）

米子ーソウル国際定期便の安定運航を実現するため、アジアナ航空に対して運航経費を支援する。

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7221）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進費（チャーター便）	3,594	4,048	△454				3,594	
トータルコスト	4,423千円（前年度6,636千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取空港、米子空港の利用促進及び両空港を活用した観光客誘致を図るため、国際チャーター便を運航する航空会社に対して、各空港利用促進懇話会を通じて運航経費の一部を支援する。

2 平成21年度事業費

（単位：千円）

区分	予算額	内容												
国際チャーター便運航支援負担金	3,098	鳥取空港：598千円、米子空港：2,500千円												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援内容（補助率）</td> <td>○着陸料（3/4） ○空港ビル使用料（10/10）</td> </tr> <tr> <td>支援対象</td> <td>台湾チャーター便</td> </tr> <tr> <td>支援先</td> <td>航空会社</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>○鳥取空港の利用を促進する懇話会 ○米子空港利用促進懇話会</td> </tr> <tr> <td>負担割合</td> <td>（鳥取空港）県：鳥取市 = 1：1 （米子空港）県：米子市：境港市 = 3：2：1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	支援内容（補助率）	○着陸料（3/4） ○空港ビル使用料（10/10）	支援対象	台湾チャーター便	支援先	航空会社	実施主体	○鳥取空港の利用を促進する懇話会 ○米子空港利用促進懇話会	負担割合	（鳥取空港）県：鳥取市 = 1：1 （米子空港）県：米子市：境港市 = 3：2：1
区分	内容													
支援内容（補助率）	○着陸料（3/4） ○空港ビル使用料（10/10）													
支援対象	台湾チャーター便													
支援先	航空会社													
実施主体	○鳥取空港の利用を促進する懇話会 ○米子空港利用促進懇話会													
負担割合	（鳥取空港）県：鳥取市 = 1：1 （米子空港）県：米子市：境港市 = 3：2：1													
事務費	496													
計	3,594													

平成21年度 一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

4項 港湾費

4目 空港費

空港港湾課 (内線 7 6 6 7)

6目 直轄空港事業費負担金

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子空港滑走路延長 (2,500m化) 事業	477,040	589,475	△112,435		<246,000> 369,000		108,040	県費負担 354,040
米子空港滑走路 2,500m化関連事業	66,300	337,430	△271,130				66,300	
直轄空港事業費 負担金 [直轄負担金]	410,740	252,045	158,695		<246,000> 369,000		41,740	県費負担 287,740
トータルコスト	495,268千円 (前年度 611,703千円)							
従事する職員数	正職員：2.2人							
主な業務内容	関係機関及び地元との協議・調整、工事発注・進行管理、負担金支払い							

事業内容の説明

1 事業の概要

米子空港滑走路延長(2,500m化)事業は、国土交通省において、平成21年度中の供用に向け工事が進められている。

県は、これに関連する事業を米子市、境港市等と調整しながら実施している。

2 事業の内容

(1)直轄空港事業費負担金 410,740千円 (国事業費：2,200,000千円)

国が行う空港整備事業について、空港法に基づき費用を負担する。

(平成21年度 延長滑走路供用予定)

(2)米子空港滑走路2,500m化関連事業 66,300千円

①防音堤 (14,500千円)

滑走路延長に伴う離発着時の騒音を軽減する。(平成21年度 完成予定)

②中浜地区連絡道路 (51,800千円)

中浜地区集落から県道米子境港線に接続する生活道路を確保する。

(平成21年度 完成予定)

<事業実施箇所位置図>



(注) 起債欄の上段< >書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費〈地方機関計上予算〉

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内交流等推進事業	731	936	△205				731	

トータルコスト 3,217千円 (前年度 4,742千円)

従事する職員数 正職員：0.30人

主な業務内容 首都圏交流自治体及び本庁との連絡調整、観光PR

説 明

1 事業の概要

県内市町村が交流している首都圏の自治体のイベントに参加し、県内市町村交流の側面的支援、観光PR及び鳥取県東京アンテナショップのPR等を実施する。

2 主な事業内容

[参加・支援予定イベント]

イベント名	時期	場所	参加自治体等
常盤平さくらまつり	4月4日 ～5日	千葉県松戸市	倉吉市
武蔵野さくらまつり	4月	東京都武蔵野市	岩美町
めぐろ童謡コンサート	9月27日	東京都目黒区	わらべ館
松戸まつり	10月	千葉県松戸市	倉吉市
むさしの青空市	11月	東京都武蔵野市	岩美町
よこすかカレーフェスティバル	11月	神奈川県横須賀市	鳥取市

[鳥取県東京アンテナショップの参画について]

既に交流を進めている自治体にて行われるイベントは、アンテナショップをPRするのに絶好の機会であることから、アンテナショップの出展も促し、ショップへの更なる来場者の増を図る。

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費 (地方機関計上予算)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域連携PR推進事業	578	546	32				578	
トータルコスト	3,064千円 (前年度 2,830千円)							
従事する職員数	正職員：0.30人							
主な業務内容	中国五県東京事務所との連絡調整、観光物産PR、情報発信イベントの開催							
説明	<p>1 事業の概要</p> <p>首都圏のマスコミ及び旅行代理店に対する効果的な観光物産情報PRと観光客誘致を図るため、中国五県の在京機関で組織する「中国五県物産観光協議会」による共同の観光物産振興イベントを開催する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 中国ブロック観光情報交換会の開催 (継続)</p> <p>首都圏のマスコミ、旅行代理店に対する中国五県の旬の観光物産情報発表会を開催し、記事掲載、取材誘致、旅行商品造成を促進する。</p> <p>【開催時期】年3回 (6月、10月、3月)</p> <p>【会場】都道府県会館</p> <p>【出席者】マスコミ、旅行代理店、日本旅行写真家協会会員、日本旅のペンクラブ会員等約60名</p> <p>(2) 山陰山陽観光物産フェアの開催 (継続)</p> <p>(ア) マスコミPRキャラバン (1回)</p> <p>各県観光親善大使が共同でマスコミPRキャラバンを行い、旬のイベント情報や特産品のPRを行う。</p> <p>【開催時期】7月頃</p> <p>(イ) 観光物産フェア (2回)</p> <p>イベントスペースやアンテナショップにおいて五県共同の観光PR・物産販売イベントを開催し、中国地方全体のイメージアップと観光客誘致を行う。</p> <p>【開催時期】7月、2月</p> <p>【会場】都内イベントスペース、各県アンテナショップ</p> <p>(3) 中国五県修学旅行誘致勉強会の開催 (継続)</p> <p>中国地方への教育旅行誘致を促進するため、専門家を招いての勉強会や誘致に向けた情報交換、方策検討を行う。</p> <p>(4) 「ディスカバーウエストコーナー」による観光PR (新規)</p> <p>大手旅行代理店の都心支店内に西日本への鉄道旅行商品「ディスカバーウエスト」の専用コーナーが新設されることに伴い、JR西日本と連携して中国五県による広域的な取組を展開し、観光客誘致のための情報発信やPRイベントにより首都圏からの誘客を図る。</p>							

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

1 目 道路橋りょう総務費

4 目 直轄道路事業費負担金

道路企画課(内線：7351)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取自動車道・山陰道等整備事業								
直轄道路事業費負担金	6,567,839	6,635,338	△67,499		<2,691,879> 5,284,000		1,283,839	県費負担 3,975,718
鳥取自動車道広報事業	1,250	1,226	24				1,250	
鳥取自動車道活性化推進事業	1,000	1,000	0				1,000	
山陰道・北条湯原道路沿線活性化推進事業	1,000	1,000	0				1,000	
トータルコスト	6,605,887千円(前年度 6,671,753千円)							
従事する職員数	正職員：4.2人							
主な業務内容	国との調整、会議出席、負担金支払							

事業内容の説明

1 事業の目的・背景

鳥取自動車道や山陰道等の幹線道路整備に係る直轄道路事業へ負担するとともに、関係団体が行う地域活性化の取組や広報活動等に助成する。

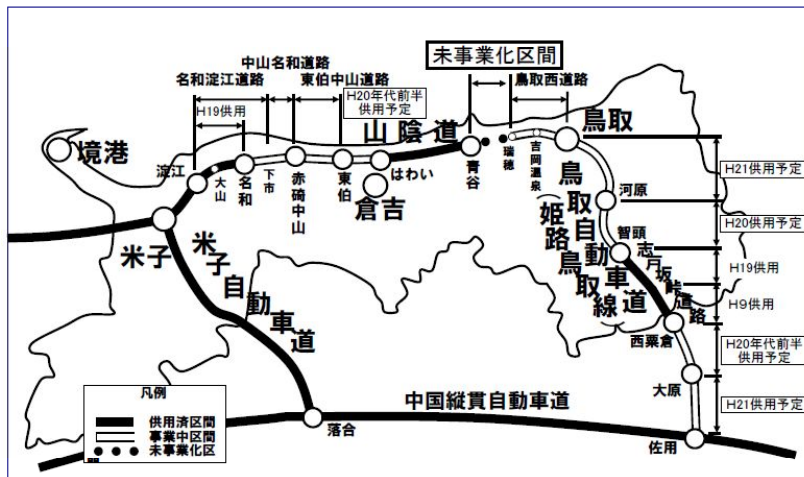
2 事業の内容

国が行う道路事業について、法律に基づき費用を負担する。

路線名	H21事業費	H21県予算額
中国横断自動車道姫路鳥取線	5,400,000	540,000
山陰道	12,600,000	2,352,002
その他の改築事業(駟馳山バイパスなど)	5,150,000	961,335
改築事業計	23,150,000	3,853,337
維持・修繕計	6,610,000	2,714,502
合計	29,760,000	6,567,839

次の組織が行う地域活性化の取組や広報活動等に対し助成を行う。

対象団体	活動内容	H21事業費	H21県予算額	備考
中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～鳥取)建設促進期成同盟会	マスコミ広報、PRグッズ作成等	2,500	1,250	市町村：1,250 (補助率1/2)
鳥取自動車道活性化協議会	いなばのお袋市協賛等	2,471	1,000	市町村 民間負担あり
山陰道・北条湯原道路沿線活性化協議会(仮称)	PR活動等	2,000	1,000	市町村 民間負担あり



(H21年2月現在)

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。
県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

1 目 道路橋りょう総務費

3 目 道路橋りょう新設改良費

道路企画課 (内線 : 7 3 5 1)

道路建設課 (内線 : 7 6 2 3)

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
地域高規格道路等整備事業 [一般公共事業] [単県公共事業]	6,777,500	6,104,000	673,500	4,044,500	<1,397,925> 2,434,000	945	298,055	1,695,980 県費負担
トータルコスト	7,031,982千円 (前年度 6,455,941千円)							
従事する職員数	正職員 : 48人 非常勤職員 : 11.1人							
主な業務内容	整備計画の策定、設計積算、工事監督、国との調整、補助金申請・受入事務、会議出席							

事業内容の説明

1 事業概要

地域高規格道路は、中国縦貫自動車道、山陰道、鳥取自動車道、米子自動車道等の高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間連携を支える規格の高い幹線道路であり、高規格幹線道路と一体となった広域的なネットワークを形成するものである。

これにより、高等教育、高度医療、文化施設等の都市的サービスの共有化や恵まれた自然などの地域資源の活用を可能とし、近隣の地方生活圏との連携による地域の活性化が図られる。

また、地域高規格道路及びバイパスの整備等により、交通が分散され、渋滞、交通安全等の現道の諸問題が解消される。

2 事業内容

○ 地域高規格道路

箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	21年度当初予算
国道178号岩美道路 (地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の一部)					
岩美郡岩美町陸上～本庄	5,700m	7.0(13.5)m	平成20～29年度	217億円	300百万円
国道313号倉吉道路 (地域高規格道路「北条湯原道路」の一部)					
倉吉市小鴨～和田	4,350m	7.0(13.5)m	平成17～24年度	95億円	1,850百万円
国道181号江府道路 (地域高規格道路「江府三次道路」の一部)					
日野郡江府町佐川～武庫	4,000m	6.5(9.5)m	平成17～29年度	98億円	300百万円

○ 国道 (道路改築)

箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	21年度当初予算
国道482号 (茗荷谷～淵見バイパス)					
八頭郡若桜町茗荷谷～淵見	2,680m	6.0(8.0)m	平成5～23年度	81億円	380百万円
国道180号 (南部バイパス)					
西伯郡南部町阿賀～米子市吉谷	4,220m	6.5(10.5)m	平成18～25年度	42億円	660百万円
国道482号 (下蚊屋バイパス)					
日野郡江府町下蚊屋	2,500m	6.0(7.5)m	平成6～22年度	55億円	800百万円

○ 県道 (道路改築)・地域活力基盤創造交付金事業 (県道改良)

箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	21年度当初予算
一般県道河原インター線					
鳥取市河原町高福～八頭町西御門	6,370m	6.5(9.0)m	平成14～26年度	127億円	2,450百万円

○ 幹線道路網調査費等

箇所	延長	内 容	事業年度	21年度当初予算
倉吉市 関金町～小鴨	10 km	環境影響調査、交通量検討	平成19～21年度	36.3百万円

○ 鳥取豊岡宮津自動車道整備促進事業

内 容	事業年度	21年度当初予算
兵庫県、京都府と連携した整備促進の取り組み (広報・要望活動等)	平成21年度	1.2百万円

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。